大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供委託事業

兜森良則

目 的

大型クラゲ（エチゼンクラゲ）等の出現・分布状況を、試験船による洋上調査及び県内漁協・漁業者からの聞き取り等により迅速に把握し、漁業者等に情報提供して漁業被害の軽減を図る。

材料と方法

1. 洋上調査

試験船青鵬丸により本県日本海沖で大型クラゲ目視調査を実施した。

2. 出現量調査

県内の漁協からキタミズクラゲ及び大型クラゲの出現情報を収集した。

3. 標本船調査

キタミズクラゲは六ヶ所村漁業協同組合所属の小型定置網漁船で6月～7月の期間、大型クラゲは新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁船で9月～3月の期間、入網状況を調査した。

結 果

1. 洋上調査

本県の日本海沖で10月に実施したが、大型クラゲの出現は全く確認されなかった。

2. 出現量調査

(1) キタミズクラゲ

春先に幾らかの発見情報があったが、漁業被害はなく、来遊数が少なかったと思われた。

(2) 大型クラゲ

県内では、出現情報は全くなかった。

3. 標本船調査

(1) キタミズクラゲ

6月の乗網率（揚網日数に占める出現日数割合）は75%で、1操業あたり10個体以下の出現であったが、7月には乗網率38%、1操業あたり5個体以下に減少した（表1）。

(2) 大型クラゲ

乗網は全くなかった。

表1. 平成27年度キタミズクラゲ標本船調査結果（六ヶ所村沖）

月	調査 日数	乗網 日数	乗網率	個体数			水温（℃）	被害の有無
				31 cm 以上	21～30 cm	11～20 cm		
6	8	6	75.0	0	0	50	13.0～15.0	なし
7	13	5	38.5	0	0	17	15.3～18.0	なし